

平成30年度 第3回大阪府立国際会議場指定管理者評価委員会 議事概要

1 日 時：平成31年2月15日（金）10時00分～12時00分

2 場 所：大阪府立国際会議場 9階会議室2

3 出席者：出席委員 5名（定員5名）

今木委員長、大井委員、谷委員、内藤委員、日野委員

4 議 題：

- (1) 平成30年度大阪府立国際会議場の指定管理運営業務にかかる評価について
- (2) 大阪府立国際会議場指定管理運営業務にかかる総括について

5 主な議事内容（委員：○ 指定管理者：●）

- (1) 平成30年度大阪府立国際会議場の指定管理運営業務にかかる評価について
 - ・事務局より、評価基準及び評価方法について説明（配付資料3・5のとおり）
 - ・指定管理者より、自己評価について説明（配付資料3のとおり）
 - ・事務局より、施設所管課の評価について説明（配付資料3のとおり）

① 「I 提案の履行状況に関する項目」について

-) 今年度は次期指定管理者の公募があり、昨年12月、引き続き(株)大阪国際会議場が管理運営することとなったが、それまでの間は、次の指定管理者となる確約がない中で、国際会議等を誘致していくには難しいところもあったのではないかと。
-) 利用者には指定管理者が変わったとしてもしっかりと引き継いでいくと説明してきたが、営業面では厳しいところもあったと思う。
-) 影響はあったと思うか。
-) 具体的には分からないが、失注している中にはそのような影響も含まれていたかも知れない。
-) 指定期間が決まっているので、期間が5年から10年に長くなったとしても、期間の終了間際には、同じようなことが起きる。今回の事例を踏まえて、何か工夫しておくべきことはあるか。
-) 解決策としては、指定管理者が一から携わるのではなく、例えば、PCO（Professional Congress Organizer）を介していただくと、具体的な調整は主催者とPCOとの間でのやり取りとなるため、指定管理者が変わったとしても問題はなくなる。
-) 3ページにある稼働率が増加した理由は何か。
-) 今年度は、催事件数は前年度を下回ったが、大型の催事が多く、全館利用する催事が多かったのが主な要因となっている。
-) 自己評価で「A」と評価されているが、目標を下回っていても「A」なのか。
-) 会社としては、稼働率を上げるための取組みを出来る限り行ってきたので、このよう

な評価をさせていただいた。

-) 6 ページの ii 「発注済」の修繕工事の工期と、7 ページの iii 「その他」No12.の備考に記載の「ESCO 事業で撤去」について教えていただきたい。
 -) 工期については、3 月末完了を予定している。また、ESCO については、平成 31 年度に大阪府で導入を行う予定で、ESCO 提案事業者からの提案でこの設備の入れ替えを予定しており、修繕が不要となった。
 -) 9 ページの来館者数は、過去 5 年間では最高となっているのか。
 -) 昨年よりも増えてはいるが、最高ではない。
 -) 2 ページの国際会議の誘致支援制度で、今年度、利用件数は増えている一方、キャンセルの件数も増えているが、効果は出ていると言えるか。
 -) これまでは、利用が確実な案件に対して支援を行ってきたが、利用が決まっていなくとも誘致を進めるため、営業の一環で支援制度を活用している。このため支援決定しても、利用に至らず、キャンセルとなる件数も増加している。これまでは小さな国際会議には適用していなかったが、新たに対象とすることでいくつか国際会議を誘致する実績も出てきている。
 -) 5 ページの駐車料金の 1 日の上限金額の設定について、本格実施の検討状況は。
 -) 個人の利用者からすると、料金に上限がないことは使いにくいとの意見があるところ。一方で、イベントの場合、利用者より業者の方が 1 日利用され、こうした収入も大きく、運用に悩んでいるところ。
 -) 11 ページに記載の、車いすやベビーカーの利用件数が増えてきているが、何か取組みを行ってきたのか。
 -) 新たな取組みはないが、利用者に対しサービス内容が浸透してきたものと理解している。
- ② 「II さらなるサービスの向上に関する事項」について
-) 13 ページの利用者のアンケートだが、平成 30 年度の配布数は昨年度の年間と比較しても半分も満たない。何か理由はあるのか。
 -) 昨年度は 1,600 件近い催事件数であったが、今年は年末までで 900 件程度となっており、そのうちお渡しできたのが 552 件であった。
 -) 配布数は昨年度より下回っているが、配布率は同程度ぐらいか。
 -) 配布率も昨年度と比較すると少し下がっている。その原因としては、リピーターに対しては過去に回答していただいていることもあり、依頼はするものの回答を断られるケースが多い。
 -) 15 ページのところ「館内表示がわかりにくい」とあるが、何か対策をとっているのか。
 -) 喫煙場所については、表示を行ったことで分かりやすくなったと評価いただいたが、各室に関してはまだ分かりにくい印象があるので、引き続き進めていきたい。
 -) 「生の声」とあるが、意見を踏まえ、具体的に取り入れたことはあるか。
 -) 大型の催事を実施している際に、他のイベントが同時に開催されている場合には、事

前に知らせしてほしいといったなどの指摘を受けたことがあった。事前にお伝えしていただければ参加者に案内することも可能だったとの意見があったので、主催者には事前に、その日に行われる催事の情報をお伝えするようにしている。

③ 全体を通して

-) 12 ページの **G20** の開催による日程の再調整を行ったとあるが、具体的にはどういうことか。
-) **G20** の開催により、会議場の近隣は大幅に交通規制がかかる恐れがあるため、利用者にはその旨をお伝えし、日程を調整できるものは調整していただいた。
-) その期間の利用料金は、特別料金などを適用されるのか。
-) 通常の料金で対応する。

(2) 大阪府立国際会議場指定管理運營業務にかかる総括について

-) 30 年度の成約件数が 1 月末時点では、60 件を下回っているが、原因は何かあるのか。
-) 30 年度は特に営業に力を入れて頑張っており、目標達成に向け努力する。
-) **IR** の誘致を進めている中で、国際会議場の位置づけをどのようにしていくのかを検討していかなければならない。規模は **IR** に設置するものには劣ると思うが、国際会議場の立地条件などを踏まえると、この施設は使い勝手のいい部分がある。今後、**IR** との棲み分けが重要となってくるかと思う。この施設の国際会議は **IR** の立地や周辺の状況などを踏まえると、学術集会のような医学系などに向いている施設だと考えているので、事務局の方でしっかりと検討していただきたい。
-) インバウンドが増加傾向となっていたので、この施設は追い風を受けながらの運営だったが、この先インバウンドが伸び悩んだ際にはどのように取り組んでいくのかということと、この先、大規模修繕の問題が出てくる中で、今後一層、大阪府と指定管理者と連携を深めていただければと思う。
-) 5 年間の指定管理者として、初年度は財政状況が良くなかったが、その後は、改善活動が上手く進み、全体を通して **A** 評価が多くなった。
-) 指定管理者の募集時に作成された運営計画に基づいて、評価を行ってきたが、5 年という期間は非常に長いと感じた。5 年間での変化に伴い、事情が大幅に変わってしまうこともあるため、当時作成した基準で判断することができない恐れがある。今回はたまたま、評価基準の見直しには至らなかったが、次の 10 年間の指定期間には状況が大きく変わる可能性もあるので、その際にどのように対応するのか考えなければならない。**PDCA** を回すにあたり、評価基準に基づいた計画を作成し、指定管理者で実行していただくこととなる。また、委員は基準に沿って、実行されているかそのチェックを行う。普通の組織であれば、計画を作成する主体も実行を行う主体も同じ 1 つの組織であるのが一般的。しかし、指定管理者制度の下では、実行は指定管理者で行うが、計画の大部分は大阪府で行うので、その点がきちんと連携が取れていれば問題はないが、状況の変化などにより、計画部分に変更が生じた際には戦略的な対応が取りにくい。実行部分できちんと回っていても、計画部分が状況の変化についていけないとなると

競争力の低下につながってしまう。実際に運営を行う中で、生きた情報を持っているのは指定管理者であり、その情報を計画策定に活かしていかなければならない。次回には、それらを反映できる仕組みを考えていただきたい。

-) それでは、5年間の取組みについての指摘・提言については、まず、事務局でまとめていただき、各委員に確認いただいた後、委員長に一任していただく形でとりまとめるということで、各委員の先生方、よろしいでしょうか。
-) 異議なし

以上